

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第2回高松市サンポート地区都市再生検討委員会
開催日時	令和3年8月4日（金） 10時00分～11時30分
開催場所	オンライン会議
議 題	(1) サンポート地区周辺地域の短期・中長期的な対策検討について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	紀伊委員長、高瀬委員、川上委員、今西委員、寺師委員、古川委員、東原委員、石川委員、森本委員、佐治委員、新名委員、川中委員、西岡委員、西森委員、藤本委員
オブザーバー	香川県旅客船協会 会長、高松空港株式会社 専務取締役、国土交通省四国地方整備局建政部都市・住宅整備課長、香川県政策部政策課長、香川県交流推進部交流推進課長、香川県交流推進部交通政策課長、香川県土木部道路課長（代理：課長補佐）、香川県土木部港湾課長
傍聴者	5名（定員10名）
担当課および連絡先	都市整備局都市計画課 087-839-2455

会議の経過及び結果
<p>会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。</p> <p>(1) サンポート地区周辺地域の短期・中長期的な対策検討について</p> <p><u>資料1、2：第1回検討委員会の振り返りについて、事務局から説明し、新県立体育館開設時期に合わせた周辺整備については、香川県都市計画課長の佐治委員から説明し、次のとおり意見があった。</u></p> <p>(紀伊委員長)</p> <p>ただいまの説明に対して、御意見、御質問など、お気付きの点があれば、御自由に御発言を頂きたい。</p> <p>(香川県旅客船協会)</p> <p>資料2の7ページにある大規模イベントとは、1万人規模のイベントを考えていると思わ</p>

れるが、自動車で来られる方や団体バスで来られるイベントもあり、来場規模の人数によって降車対策も異なると思うので、規模（1万人・5千人・3千人）に応じた自動車の交通対策の検討に当たり、自動車シミュレーションをしてほしい。現在の計画では、抽象的すぎるので、送迎駐車場やバス乗降をどこに設定するか等の検討をすべきである。

また、資料2の8ページの玉藻北交差点や玉藻交差点の混雑について、“一時的”とあるが、毎日発生しているので、抜本的な対策をお願いしたい。現状、歩車分離信号になっているので、デッキ整備により、人流の円滑化を図ってほしい。琴電連立の存廃次第のところは分かるが、現状でも中央通りのように車両だけの交差点にするようお願いしたい。

（佐治委員）

まずは、後者に関して、一時的に毎日混雑が起こっていることについては、県としても把握しており、解消に向けて平面での対策を検討している。今後、根本的な立体的対策については、琴電連立対策検討委員会で結論が出た後、検討してまいりたい。前者に関して、空いているスペースを活用して、シャトルバス運行やP&R等の検討を進めていきたい。駐車場整備については、体育館の日常利用者を対象にした駐車場整備を計画しており、サンポート地区が、JRやことでん、バス、船の交通結節点であることを踏まえ、公共交通の利用を原則として考えている。

（香川県旅客船協会）

来場規模によって車の流れも変わってくると思うので、シミュレーションの実施について考えていただきたい。

（佐治委員）

今後、検討していく。

（紀伊委員長）

集中する時間帯なども踏まえ、どこにどのように混雑が発生するのか、具体的なイメージを持って対策を検討した方が、委員の皆様も意見を出しやすいと思う。今回で終わる話ではないので、引き続き検討していただきたい。大学もシミュレーションのノウハウは有しているので、協力していきたい。

（今西委員）

自動車シミュレーションについて、ぜひ検討を進めていただきたい。資料1の3ページに前回の委員会の意見として、大型バスの乗降場所が必要と記載されている。イベント開催における退出時は、バスが相当混むとともに、高松駅北に貸切バスの乗り場はあるが、到底足りないことが想定される。空いているスペースを活用するという事であるが、どのくらいの規模があるのか分からないので、イベント時の大型バスの乗降場所を確保していただきたい。

（新名委員）

大型車両が停車できるスペースとして、体育館の南側に8台程度、北側に車寄せもあり、体育館の敷地全体として10台程度は停車できる。敷地以外にも、体育館の北西部分にバス駐車場があり、10台程度駐車できる。その他、それ以上の台数については、イベントに応じて、周辺の敷地を活用して、バスの乗降場・駐車場にしたいと考えている。

（紀伊委員長）

大規模イベントとなれば、周辺の交通規制も含めて検討することが必要であると考え。インフラ等は限られており、来場規模に応じて、どの程度の混雑が発生するのか。もし足りないようであれば、交通規制は必要なのか。シミュレーションを実施しないと分からないこともあるので、検討していただきたい。

(高瀬委員)

新駅ビルについて、令和5年度下期の開業を目指して計画している。香川県・高松市と調整しながら、キャノピー整備をどのようにするか、これから協議を進めていきたい。

(石川委員)

原案で、齟齬はないと考えている。車での来訪者は、現実的にはある程度発生することは想像できる。その場合、シンボルタワー周辺の駐車場もキャパシティがあり、近傍には、高松市や香川県の大きな駐車場もあるので、満空情報を共有すると共に、シャトルバスを運行するなど検討していただければと思う。

(新名委員)

満空表示については、今後協議しながら進めていきたい。

(紀伊委員長)

資料2の5ページに示す動線2(高松港から体育館)について、どのくらいの需要があるのかは分からない。既にサンポートにはデッキがある中で、平面移動が多いのが現状である。人の動き方を反映した計画立案・整備と共に、港湾を運用している方との連携も必要と考える。

(香川県港湾課)

高松港の長期構想を別途策定することとしている。歩行者の安全安心な動線の確保は重要な課題と捉えており、港湾と体育館を結ぶデッキに加えて、フェリー乗り場から既存のコリドーに上がる動線も必要と考えている。体育館の整備に合わせたフェリー乗り場のエスカレーター整備等も含め、今後、旅客船協会とも協議しながら、動線を確保していきたいと考えている。

(紀伊委員長)

利用者にとって利用しやすいものにしてもらいたい。臨港道路の横断歩道の上にデッキを作るようなイメージ図になっている。また、デッキを降りた先にキャノピーがあり、体育館に向かう動線になっている。旅客ターミナルの横の空き地がどのような利用がなされるのか。周辺の計画とデッキを整合させなければ、デッキの利用しやすさが変わってくるので、面的な計画を踏まえて、周辺計画と齟齬がなく、親和性のある動線検討を行ってほしい。都市再生整備事業に挙げていくに当たり、どのくらいの確度のものを提示するのか。

(四国地方整備政部都市・住宅整備課)

都市再生整備計画について、申請自体は、実施設計レベルのものは必要なく、構想レベルで申請はできる。その後、精度を高めていけばよい。

(紀伊委員長)

流動的な周辺状況を踏まえると、計画が修正・変更されることもあり得ると思うが、その辺も対応は可能か。

(四国地方整備政部都市・住宅整備課)

大幅な変更は好ましくないことから、周辺計画と整合したものとして、齟齬そごがないようにしていただきたい。

(紀伊委員長)

周辺の土地利用計画、港湾計画等も踏まえ、精度を上げて都市再生整備計画を立てていただきたい。

(西岡委員)

駐車場については、体育館利用しか考えていないという回答であるが、日常的な利用を全く考えていないのは、おかしいのではないか。イベント以外の日常的な活用での視点も検討すべきではないか。

(紀伊委員長)

日常は、自動車で来られる方が多いと想定されるので、駐車場の活用も必要との意見であるが、県から意見はあるか。

(新名委員)

体育館の駐車場の考え方について、日常は、スポーツ施設として利用していただく。その利用者に対して、体育館に100台、サンポート地下駐車場に1,000台程度の駐車場を活用していただく。また、イベント時は、多数の来訪者が来られるので、原則として公共交通を利用していただく考え方である。その他、周辺の駐車場やシャトルバス利用を含め、渋滞が発生しないように対策を講じていきたい。

(西岡委員)

それでは、スペースがもったいないと思わないのか。市内には、多数ある小さなコインパーキングがあることで、交通上危険があると捉えている。コインパーキングを集約化し、そこからコミュニティバスで体育館に送迎するなどして、体育館の駐車スペースを市民の方に有効に利用してもらうことも検討することが必要だと考える。

(紀伊委員長)

体育館に限らず、サンポート全体で駐車場の活用をどうするかの貴重な意見であった。中心市街地の駐車場を利用した後、公共交通とも組み合わせて、体育館だけでなく、サンポートへ安全に誘導するためにも駐車場の活用法を考えていただきたいとの意見であるので、今後、交通政策部門で検討していただきたい。

(紀伊委員長)

これまでにいただいた意見を踏まえて、都市再生整備計画案として取りまとめることについて、了承を頂きたいが、意義はあるか。

(各委員)

【異議なし】

資料3：サンポート地区の中長期的なまちづくりに向けた検討について、事務局から説明し、次のとおり意見があった。

(香川県旅客船協会)

旅客ターミナルビルに切符売り場や待合などが移転して20年くらいになる。お客様は増

えて有り難いが、他府県の旅客船ターミナルの切符売り場と比較すると、規模が小さく、瀬戸内芸術祭には、お客様が入りきらず、乗船にあたり非常に長い行列ができています。中長期的に見て、サンポートを発展させていただくのであれば、港の切符売り場のところも、今後、グランドデザインの中に入れていただき、検討をお願いしたい。

(事務局)

エリアプラットフォームの構築や未来ビジョンを策定していく中で、県港湾課とも協議をして参りたい。

(香川県港湾課)

今年度、取りまとめを予定している高松港長期構想の中で、乗降客の滞留空間の確保は、課題として位置付けているので、具体的な計画検討に当たっては、関係者との協議を進めていきたい。

(紀伊委員長)

街の中心部に港湾があることは、高松の魅力を発展させることにつながるもので、利用される方が、魅力を存分に感じてもらうような検討をしてもらいたい。

(西森委員)

7ページにまちなかウォークアブル推進事業が掲載されているが、もし具体的な計画があれば教えていただきたい。以前、高松城跡に隣接する「キャッスルプロムナード」として緑地整備を行うといったような記事を見たことがある。

(事務局)

3ページに示すエリアプラットフォーム活動支援事業の中で、今年度にエリアプラットフォームを構築し、未来ビジョンの策定を行う予定としている。次年度以降に官民連携のまちづくりを進めていく中で、都市再生推進法人等と協議を重ね、未来ビジョンに向けた活動を行うことを想定しているが、現時点では、具体的な計画はない。

(香川県港湾課)

玉藻城北側については、港湾緑地に位置付けられている。高松港の長期構想でも、「キャッスルプロムナード」について、多目的利用ができる広場の空間として位置付けており、今後、絵姿等の検討を進めていきたい。

(紀伊委員長)

今後の検討に当たり、意見を反映していただきたい。

(藤本委員)

5ページのエリアプラットフォーム活動の方向性のところで、「エリアのポテンシャルを探る」とあるが、点から面的な広がりについて、どのように考えているのか。もし計画や手法があれば教えてほしい。

(事務局)

サンポート地区のグランドデザインを描くに当たり、従来の委員会形成では、合意形成が困難であると感じている。そこで、エリアプラットフォームを構築し、それぞれの課題を共有しながら、エリアの未来ビジョンを議論し、その実現に向け調整や連携といったアクションを進めていくことでエリアが抱える課題を解決していければと考えている。このエリアプラットフォームには、本委員会の委員様も参画いただけるので、お願いしたい。

(紀伊委員長)

エリアプラットフォームの活動の中で、面的なつながりに資する検討を進めていくことになるので、関心ある方は参加いただきたい。

(3) その他について

事務局より次回委員会の開催時期は、現在のところ未定であるが、必要に応じて案内することを提案し、委員全員が了承とした。

その他、委員から特に意見はなく、以上をもって、本日の会議を終了することとした。

以 上